

緑窓

RYOKUSOKUKAI



青山学院中等部緑窓会会報
2013年(平成25年)5月1日発行
青山学院中等部緑窓会 発行人 崎田克巳
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL / FAX : 03-3498-5387
E-mail : ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp
web site : http://www.ryokusou.net/

中等部のステンドグラス

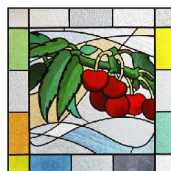
卒業生の誇りを示そう

中等部緑窓会会長 崎田 克巳(14期)



母校中等部は昨年激震に見舞われました。学内の出来事の一部週刊誌などに正確性を欠く記事で報道され、さらに興味本位な憶測がネット社会で玩ばれました。生徒や先生は傷つき、経験したことのない辛い思いを味わいました。発端となった事実は山本中等部長を中心に一丸となり調査され、その結果は慎重な配慮のもと保護者、関係者に対して真摯な説明がなされ、学内の動揺は収まりました。

さて、母校が目の前の危機にあったその時、私たち卒業生は何が出来たのでしょうか、何をすべきだったのでしょうか。この辛い思いの真只中、生徒たちは11月の中等部祭の準備を始めていました。そこで決めた文化祭テーマは「誇り～今を楽しみ、そして魅せる～」でした。これを知り安心しました。後輩たちは決してめげない、そして何より心強く感じたのは「誇り」という力強いかけ声でした。後輩たちは不本意な報道に惑わされることなく事実を確認し、中等部生としての誇りを取り戻していたのです。私たち卒業生も母校に対する誇りを意識し直すことがいま最も大切なことではないでしょうか。中等部は新年度の入試募集においても逆風に晒されました。逆風がそよ風となるよう卒業生としての誇りを世に示し、後輩、先生と共に、この厄難を克服して行くことではありませんか。



「生誕」
さくらんぼ



「受難」
あざみ



「復活」
ざくろ



「再臨」
すずらん
48期寄贈

解説は3ページ

第24回「緑窓会の日」

実行委員長 神保 行宏(24期)



中等部卒業生の皆様、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。「緑窓会の日」は今年で24回目となり24期が幹事を務めます。テーマは『中等部が大好き！あの時も、今も、これからもずっと…』。この日をホームカミングデーと位置づけ、中等部での先生や友との再会を喜び、学校との絆を確かめる日として、皆様に心から喜んでいただける企画を考えました。礼拝は、山北院長、初等部から大学までの宗教主任をお迎えする予定です。笹森建美先生のお話から、『あの時』の中等部を思い出せればと思います。第1部は、現在ユニセフの教育アドバイザーとしてアフリカで活躍中の横関祐見子さんが講演します。その後『今』の中等部の活躍を皆様と一緒に楽しめるよう、中等部吹奏楽部、ダンス部が出演します。共に熱気を感じていただける企画としました。第2部は、場所をアイビーホール青学会館に移し、同期会サポートと共同企画した懇親会を開催します。恩師や同窓生と共に楽しみいただき、『これからもずっと…』中等部を愛し、応援する絆を確かめる日としたいと思います。

卒業後、「緑窓会の日」に参加される機会が少なかったという方も、今年はぜひ足をお運びください。

第24回 緑窓会の日「中等部が大好き！あの時も、今も、これからもずっと…」

日 時 2013年6月8日(土) 13時30分～19時

参加費 5,000円(第1部のみ参加は、1,000円、第2部のみ参加は、4,000円)学生、生徒は、第1部は無料

— プログラム —

第1部 青学講堂 13:30～16:00

礼 拝 司式：相良昌彦(24期・高等部宗教主任) 説教：笹森建美(駒場工デン教会牧師)
奏楽：清瀬雅子(14期)催 し (1) 講演 横関祐見子(24期)「21世紀のフロンティア、アフリカの子どもたちの未来」
(2) 音楽演奏&ダンス 中等部吹奏楽部、中等部ダンス部

第2部 アイビーホール青学会館 16:30～19:00

懇親会 祈祷：久山康彦(24期・センテナリー合同メソジスト教会牧師)

《同期会サポートのご案内》

今年も緑窓会では、中等部卒業後10年(55期)、20年(45期)、30年(35期)の期を対象に同期会実施のサポートをします。6月8日に同期会が行えるように、アイビーホール青学会館の予約、先生への案内はがきの作成などをします。これをきっかけに、緑窓会の活動に参加されることを期待します。

「緑窓会の日」とは

西本 由里子(18期)

「緑窓会の日」をご存じですか？「緑窓会の日」は6月の第1土曜日の午後、毎年行われ昨年で23回になりました。この会は中等部の卒業生全員が参加でき、親しく交流する日です。「第1回」は1990年に、1期2期の方達为中心となり、標語「原点・祝祭・継続」の下、中等部の時と同じ礼拝を守り、遠藤周作さんの講演と2期生の海野義雄さんのバイオリンのコンサートで始まりました。毎年1学年ごとに下がり、担当の期となります。今までに歌舞伎や、コンサート、邦楽に、学術的講演等々、内容はその担当期が工夫を凝らして毎年楽しい企画を立て、約1年時間をかけて実行しています。ちょうど卒業40年の55歳が担当期に当たります。「緑窓会の日」のスタート当初は55歳が定年だった記憶もありますが、現在はまだ仕事が忙しい時かもしれません。それでも、学年がまとまって協力できると、その後のクラス会等がスムーズに進む一助となります。

今年度はご案内の通り、24期が担当期です。ぜひ皆さま多数ご参加ください。もう既に1期から23期の方たちは「緑窓会の日」の様子をご存じの方が多いと思います。これから「緑窓会の日」を準備いただく25期以下の皆さんに大いに期待しています。



～緑窓会の一年～ 2012年度

6月9日(土) 第23回「緑窓会の日」報告

実行委員長 三井 昭重(23期)



23回目の「緑窓会の日」は、それまでとは一風変わっていたかも知れませんが、23期としては実行委員に限らず当日が終わるまで無我夢中でした。多くの方々に無理をお願いしながらサポートして頂いての実現でしたので、感謝の気持ちが尽きません。ご協力くださった皆様、そしてご来場くださった皆様、本当にありがとうございました。今、中等部には67期生までが在籍していますが、「緑窓会の日」は未だ23回目だったのだと思い返しています。人生でいえば、20代半ば。自らの可能性をいろいろと探っている頃ではないでしょうか。もうすぐ今年の「緑窓会の日」が来ます。どんな日になるのかとても楽しみです。

9月23日(日) グリーンフェスティバル



大雨の中、テントと17号館カフェテリアで、毎年好評の富士山の湧水で入れたブルーマウンテンコーヒーと特製100%オレンジジュースを販売しました。



第3回公開講座は、清瀬雅子さん(14期)が「グレゴリオ聖歌を源とし、讃美歌に至るキリスト教音楽の流れ」というテーマで講演を行いました。

10月6日(土) 中等部運動会

秋晴れの中、中等部校庭で運動会が開催されました。学年優勝の1年A組、2年D組、3年C組と、男子3,000m走、女子800m走の1位、2位、3位の選手に、緑窓会よりスポーツタオルを贈呈しました。



11月10日(土) ジュビリーズ式典

中等部祭の開会礼拝の後、4期・ダイヤモンド(卒業後60年目)、14期・ゴールド(同50年目)、39期・シルバー(同25年目)の卒業生が表彰され、記念の盾とスポーツタオル(年号「2012」入)が贈られました。今年は11月9日(土)、対象学年は5期、15期、40期です。ぜひご参加ください。



同期会をしました・・・

- ◇34期同期会 6月9日
 - ◇44期同期会 6月9日 文・加藤麻衣
 - ◇54期同期会 6月9日 文・中村雄太郎
 - ◇1期同期会 11月5日 文・臺正彦
 - ◇2期同期会 11月27日 文・高砂雄一
 - ◇20期B組クラス会 2月9日 文・二之宮由紀江
- 写真、記事の詳細は、緑窓会ホームページをご覧ください。緑窓会では、同期会、クラス会の開催予定の期幹事に宛名ラベルを差し上げています。

毎年オーストリアで開催される「ブラームス国際コンクール」は、ヨーロッパで最も権威あるコンクールのひとつです。審査員が音楽性、技術面の2つに対してすぐに得点を開示するという、審査の透明性が特徴です。

今回は、昨年9月に、このコンクールのピアノ部門で優勝された、佐藤麻理さんにお話を伺いました。 【インタビュー 濱中浩子(20期) 大石由美子(22期)】

—「第19回ブラームス国際コンクール」での優勝おめでとうございます。

どんなコンクールですか？

ベルチャッハというブラームスが訪れていた避暑地で行われるコンクールです。スタッフや町の人々もサポートしてくれて温かい雰囲気です。ピアノをはじめ6部門あり、ブラームスの曲をメインに弾きます。9日間で、1次、2次予選、ファイナルと進み、ファイナルには3人残ります。

—コンクールに自信はありましたか？

今まで勉強してきた事への自信はありましたが、世界中からの参加者が、皆、上手そうに見えて不安でした。どの本番でも緊張しますが、最終的に自分との戦いなので、常に自分の音楽ができるように心がけています。ピアノに向かう瞬間は、自信を持って、とにかく気持ちを奮い立たせていました。緊張からくる集中力が良い演奏となって、今回は結果につながったと思います。

—さて、中等部時代を振り返って、中等部はいかがでした？

学校へ行くのが楽しみでした。毎日バレーボールで遊び、友達とは個性的で楽しく、男女を問わず仲が良かったと思います。今でもお互いの話を聞いたりして、交流が続いています。

—印象に残っていることは？

中等部祭と毎日の礼拝です。高校で礼拝の無い環境になって、物足りなさを感じて、毎朝礼拝に集まる時間が好きだったことがわかりました。

—中等部はあなたにとってどんなところですか？

ホームですね。友達がいて、皆が私を応援してくれて、私も友達を応援している。先生方も応援してくださる。帰って来ると、ここがルーツだな、と思います。中等部で出会った人には感謝しています。

—これからの夢は？

ピアニストとして一人前になれるように努力して、少しでも多くの人々の心に届くような演奏をしたいと思います。いつか、同級生の皆で得意な事を持ち寄って、何かできたら楽しそうですね。

☆佐藤麻理さんコンサート予定☆

2013年7月27日(土) 東京ニューシティ管弦楽団第89回定期演奏会
東京芸術劇場コンサートホール

2013年9月1日(日) Johannes Brahms Philharmoniker 第3回演奏会
タワーホール船堀 大ホール

◇詳細・お問い合わせは、緑窓会まで。



中等部はホームです

佐藤麻理さんプロフィール
5歳からピアノを始める。青山学院初等部、中等部、東京藝術大学音楽部付属音楽高等学校、東京藝術大学ピアノ科在学中に、アヴォ・クムジャン先生の下で学ぶため、ウィーンへ。現在は、ウィーン国立音大大学院ピアノ室内楽科在学中。2012年9月にオーストリアのベルチャッハで開かれた「第19回ブラームス国際コンクール」ピアノ部門で優勝。



2013年1月 箱根駅伝



緑窓会は、毎年1月2・3日の箱根駅伝の応援から始まります。今年も京浜急行の立会川駅付近で、青山学院のフレッシュグリーンを立て、往路は遠藤選手、復路は出岐選手の名を懸命に呼びました。昨年より集まった人も増え賑やかでした。復路応援後、崎田会長持参のテレビを蕎麦屋で見ながらゴールまで応援しました。結果は8位。来年のシード権を獲得しました。

中等部筒井祥之先生デザイン 中等部ロビーのスタンドグラス 岩永 はるみ(6期)

みなさん、母校を訪ねた時、ロビーのスタンドグラスに思わず見惚れたことはありませんか？実はあの8枚のスタンドグラスは48期生と51期生が卒業時に母校に残した記念品。テーマをキリストの生涯からとり、筒井祥之先生がデザインされました。中央の4枚は48期生が贈ったもので、今回、緑窓会の会報をカラーにするに当たり、第1ページにご紹介しました。上から、「生誕」を表すさくらんぼの赤い実。天国の果実と呼ばれ、祝福を受けた者、天国の諸聖人の喜びを暗示しています。次は「受難」を表すあざみの花。有刺植物で、同じ棘のある「いばら」とともに、キリストの受難のシンボルとなっています。「復活」を表すのはごくろの実。異教神話の農業の女神プロセルビーナの象徴で、キリスト教美術では不老と復活の象徴とされます。最後に「再臨」を表す鈴蘭は、1年の最初に咲く花の1つで、春の再来を告げるとして、キリスト再臨のシンボルとなっています。いかがですか。絵柄の意味を知って見るスタンドグラスは、また別の美しさかもしれません。

中等部便り

2013年度人事

部長 山本与志春
 教頭 敷島 洋一
 宗 教 主 任 西田恵一郎
 教 務 委 員 長 津村 裕子
 指 導 委 員 長 朝野 圭三
 将 来 構 想 委 員 長 筒井 祥之
 1 年 学 年 主 任 上野 亮
 2 年 学 年 主 任 有賀 実男
 3 年 学 年 主 任 浦田 浩
 事 務 長 祖父江健一

[退職] 山本 節子 (教頭・社会科)
 1975年4月~2013年3月
 渡邊 哲 (事務長)
 2007年4月~2013年5月

[新任] 近藤 勇太郎 (数学科)
 進藤 友介 (体育科)
 小川 広記 (社会科)



1995年緑窓会奇蹟のシダレザクラ

2012年度収支計算書

自 2012年4月1日 至 2013年3月31日
 金額：円

支 出 の 部		金 額
科 目		
会 報 発 送 費		1,251,985
会 報 制 作 費		880,425
事 業 費	「緑窓会の日」	1,115,521
	同 窓 祭	115,656
	中等部Jubilees	259,070
	同期会サポート	92,000
渉 外 費		69,550
会 議 費		196,424
交 通 費		330,640
通 信 費		148,143
消 耗 品 費		1,165
水 道 光 熱 費		12,000
慶 弔 費		0
コ ピ ー 機 リ ー ス 料		13,608
事 務 用 品 費		171,960
そ の 他 寄 付 金		250,410
中 等 部 指 定 寄 付		200,000
支 払 手 数 料		1,570
H P 制 作 ・ 管 理 費		19,900
支 出 合 計		5,130,027
当 年 度 収 支 差 額		2,119,072
前 受 金		598,000
次 年 度 繰 越 金		10,604,228

収 入 の 部		金 額
科 目		
入 会 金 (卒 業 生)		819,000
維 持 会 費		5,544,000
「緑窓会の日」会費		733,000
同 窓 祭 事 業 収 入		84,550
寄 付 収 入		67,000
預 金 利 息		1,549
収 入 合 計		7,249,099
前 年 度 繰 越 金		7,887,156

会長 崎田克巳 / 副会長 松元茂、富士野ゆかり
 会計 小平昌邦、西本由里子 / 監事 今村和久、伊藤正道
 <<定例役員会の報告>>
 2012年5月26日に第1回、2012年12月15日に第2回定例
 役員会が開催されました。詳細は、HPをご覧ください。

2013年度 緑窓会行事予定

6月8日(土) 第24回「緑窓会の日」、同期会サポート
 9月23日(月) グリーンフェスティバルに参加
 10月12日(土) 運動会で緑窓会賞(スポーツタオル)を贈呈
 11月9日(土) 中等部祭 Jubilees式典
 「緑窓会の部屋」
 10日(日) 中等部祭「緑窓会の部屋」
 1月2日(木) 箱根駅伝応援 往路
 3日(金) 箱根駅伝応援 復路

会計報告について

緑窓会会則では、会計年度(4月1日~翌年3月31日)の
 終了3ヶ月以内に当年度決算を、一方翌年度予算について
 は同開始2ヶ月以前に、役員会において説明し承認を得る
 ことが規定されています。昨年12月15日役員会に於ける、
 2012年度決算見込み、及び2013年度予算(承認)の詳細につ
 いては[緑窓会事務局]までお問い合わせください。
 (最後に:私は緑窓会会長を5月で退任させていただきます
 5年間、皆様から賜りましたご指導、ご協力感謝いた
 します。ありがとうございました。14期 崎田克巳)

緑窓会期幹事になって

田島 勇希(64期)

私はまだ自分が代表幹事ということを知
 らされたばかりで正直何をやる役職なのか
 分かりません。しかし学年で男女一人ずつ
 しか選ばれないというこの役職に誇りを持
 ち、緑窓会また青山学院に貢献していけ
 らなと思います。



山田 理以奈(64期)

中等部3年間は、日々祈りの中、のびのび
 とした環境で学び、最後の1年は学友会の
 仕事を通じ交友関係も広がりました。64期
 幹事として、お互いの存在を喜び合う中等
 部の絆を先輩方と共に長くつなげていける
 ように努力したいと思います。



Help! ボランティア募集

緑窓会の行事は年々活発になっています。
 「毎週火曜日」「午後だけなら」「毎週は無理
 だけど月1回なら」「行事当日だけなら」など、
 どのような方法でも結構です。PCが得意
 な方、編集に興味のある方、何か手伝って
 くださるお気持ちのある方、緑窓会室ま
 でご連絡をお待ちしています。

